

東大和市健康増進計画  
平成30年度実施状況報告書



東京  
ゆったり日和  
東やまと

東大和市健康増進計画 基本理念

生涯にわたって  
健康でいきいきと  
豊かな人生を  
おくれるまち  
東大和

## はじめに

東大和市は、市民の皆様が心身ともに健康でいきいきとした豊かな生活を送ることを目指して、平成27年3月に「東大和市健康増進計画」（以下「計画」という。）を策定し、その基本理念を「生涯にわたって 健康でいきいきと豊かな人生をおくれるまち 東大和」として、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、市全体で健康づくりに関連する様々な施策に取り組んでいます。

このたび、作成した本報告書は、計画第5章第3節「計画の進行管理（計画の評価と見直し）」に基づく年次報告書として、平成30年度に実施した各施策の具体的な事業実績をまとめたものです。

これらの事業実績を踏まえ、計画に掲げた各事業の着実な推進と充実を図り、計画の本旨に沿い、市民の皆様が活力のある豊かな生活を送ってくださるようさらなる健康増進の推進に向け取り組んでまいります。

令和2年3月



～目 次～

I	計画の概要	1
II	評価指標の関連基本データ	6
III	実施状況調査	7
1.	各分野ごとの各部別事業数	7
2.	各分野ごとの評価結果	8
3.	実施状況調査結果の概要	9
4.	地域福祉審議会 答申[抜粋]	1 1
5.	実施状況調査結果	
	第1節 生活習慣の改善と推進	
1	栄養・食生活、食育の推進[分類番号1-①]	1 2
2	身体活動・運動[分類番号1-②]	1 3
3	休養[分類番号1-③]	1 5
4-1	飲酒[分類番号1-④-1]	1 6
4-2	喫煙(3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)[分類番号1-④-2]	1 7
5	歯と口の健康づくり	1 8
	第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備	
1	こころの健康・働く世代の健康づくり[分類番号2-①]	2 0
2	次世代の健康・母子保健対策の推進[分類番号2-②]	2 3
3	高齢者の健康[分類番号2-③]	3 0
4	社会環境整備[分類番号2-④]	3 4
1	第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防	
1	がん対策の推進[分類番号3-①]	3 6
2	糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進[分類番号3-②]	3 7
3	循環器疾患の対策[分類番号3-③]	3 9
4	「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策[分類番号3-④]	4 0

# I 計画の概要

## 1. 東大和市健康増進計画について

本計画は、健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」であり、食育基本法に定める「市町村食育推進計画」、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」を包含し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指して計画期間を平成27年度から平成32(令和2)年度までの6年間としています。

## 2. 計画の体系

### (1) 概要

「生活習慣」「ライフステージ」「発症予防と重症化予防」の三つの分野から構成されています。

#### 分野別目標

#### 施策

### 1 生活習慣の改善の推進

- ・ 1 栄養・食生活、食育の推進（食育推進計画）
- ・ 2 身体活動・運動
- ・ 3 休養
- ・ 4 飲酒・喫煙（COPDの対策含む）
- ・ 5 歯・口腔の健康づくり

### 2 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

- ・ 1 こころの健康・働く世代の健康づくり
- ・ 2 次世代の健康：母子保健対策の推進（母子保健計画）
- ・ 3 高齢者の健康
- ・ 4 社会環境整備

### 3 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防

- ・ 1 がん対策の推進
- ・ 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- ・ 3 循環器疾患の対策
- ・ 4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策

## (2) 分野ごとの施策目標と取り組み（役割の分担）

### ①生活習慣改善の推進—五つの重点項目から構成されています。

#### 1 栄養・食生活、食育の推進 東大和市食育推進計画

- ・食生活に関する知識の普及・促進に努めます
- ・健康的な食生活を実践しやすい環境の整備を進めます。
- ・食の安全・安心につながる正しい情報提供を図ります。
- ・全校食育授業を実施します。

#### 2 身体活動・運動

- ・身体活動（生活活動・運動）に関する普及啓発に努めます。
- ・身体活動をしやすい環境の整備に努めます。
- ・生活習慣病対策との連動の促進、情報提供に努めます。
- ・子どもの望ましい生活習慣について、子どもと保護者への普及啓発に努めます。
- ・子どもが望ましい生活習慣を身に付けられる環境の整備に努めます。
- ・運動に親しむ取組を推進し、1校1運動や学校間運動交流の実施に努めます。

#### 3 休養

- ・適切な睡眠の意義や睡眠のとり方の普及啓発に努めます。
- ・余暇活動の充実を推進します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基礎的な生活習慣の確立に努めます。
- ・家庭と協力して、適切な睡眠が取れるように努めます。

#### 4-1 飲酒

- ・飲酒が及ぼす健康への影響について普及啓発します。
- ・未成年、妊婦・授乳中の女性への飲酒防止を推進します。
- ・相談体制の整備を図ります。
- ・未成年者の飲酒禁止と、飲酒が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。

#### 4-2 喫煙 （「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

- ・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。
- ・禁煙しやすい環境の整備を図ります。
- ・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。
- ・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

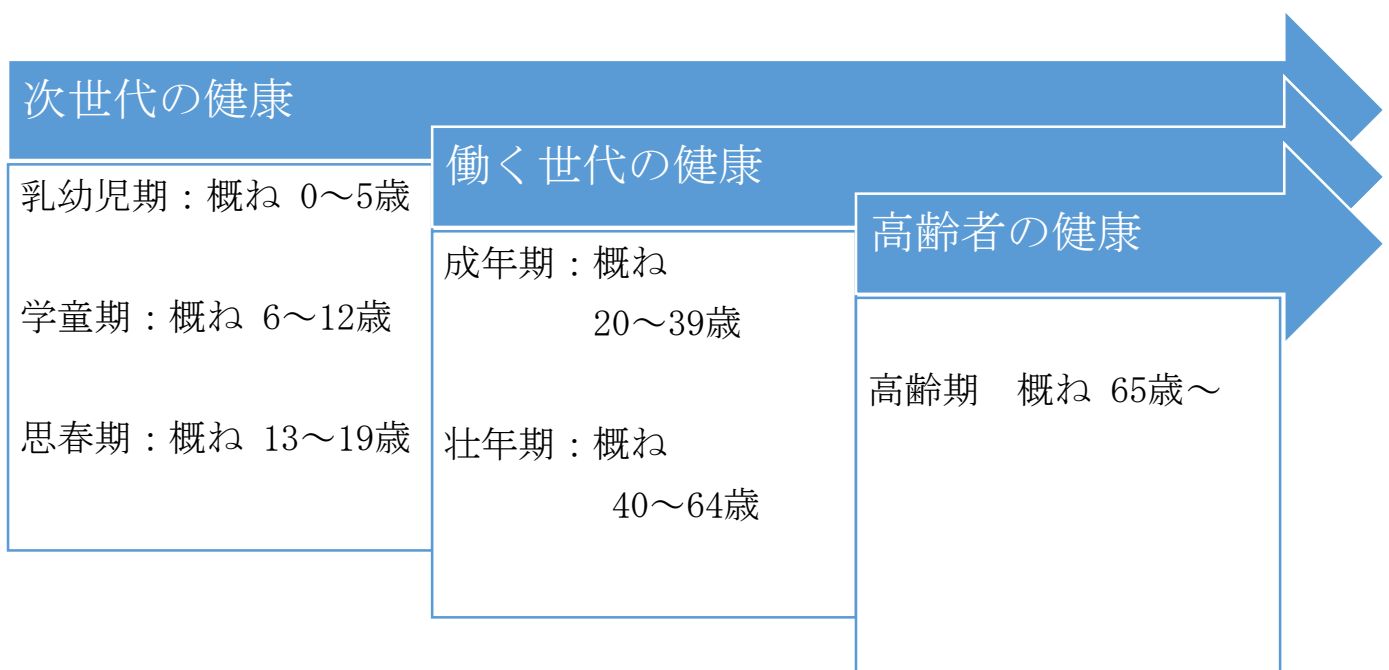
#### 5 歯と口腔の健康づくり

- ・切れ目ない子どもの歯科保健の充実を図ります。
- ・成人歯科保健の充実を図ります。
- ・高齢者・障害者の歯科保健の推進を図ります。
- ・かかりつけ歯科医の推進を図ります。
- ・正しい口腔ケアを指導し、習慣付けます。
- ・歯と口腔の健康が、全身の健康と密接に関わっていることを教育活動を通して普及啓発に努めます。

## ② ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり	2 次世代の健康 母子保健対策の推進 東大和市母子保健計画	3 高齢者の健康	4 社会環境整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス対処法等の知識の普及啓発に努めます。</li> <li>・こころの健康づくりを支える体制づくりの推進を図ります。</li> <li>・こころの健康づくりにつながる地域活動の支援の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実を図ります。</li> <li>・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実を図ります。</li> <li>・子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進を図ります。</li> <li>・子育て中の親への支援体制の整備（育てにくさを感じる親に寄り添う支援）を図ります。</li> <li>・児童虐待発生予防対策の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりの普及啓発をします。</li> <li>・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりに取り組みやすい環境の整備の推進を図ります。</li> <li>・介護予防事業等によって地域の高齢者の健康状況等を把握し、実情に応じた事業を実施します。</li> <li>・（東大和市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき実施します。）</li> <li>・高齢社会に対する教育の一環として、高齢者との交流の推進に努めます。</li> <li>・生涯にわたって健康な生活を送れるよう、進んで運動に取り組む教育を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりと健康状態が関係することについて、普及啓発を行います。</li> <li>・地域のつながりを醸成します。</li> <li>・地域活動に健康づくりの視点を入れ、活動を支援します。</li> <li>・児童・生徒や教職員の地域行事への参加や地域住民の学校活動への参加を通じて、地域のつながりを醸成します。</li> </ul>

3 区分のライフステージで構成されています。






③ 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 4 疾病で構成されています。

1 がん対策の推進	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進	3 循環器疾患の対策	4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん予防に関する正しい知識を普及します。</li> <li>・がん予防に取り組みやすい環境を整備します。</li> <li>・がん検診等を実施し、受診率と検診の質を向上させます。</li> <li>・健康教育をより一層充実するとともに、望ましい生活習慣の育成に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病・メタボリックシンドロームを予防する生活習慣などに関する知識を普及します。</li> <li>・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。</li> <li>・特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療健康診査を実施します。</li> <li>・健康に対する関心を高め、主体的に健康を保持・増進する態度を養います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器疾患を予防する生活習慣に関する知識を普及します。</li> <li>・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。</li> <li>・早期発見・早期治療のために成人健康診査を実施します。</li> <li>・「生活習慣チェックリスト」や「自己点検表」などを作成し、子ども自身が進んで生活習慣を改善できる資質・能力を育成していきます。</li> <li>・養護教諭や学校医等が中心となって学校全体で生活習慣の改善が促進されるよう取り組んでいきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の改善の推進 4 - 2 喫煙に準じます。</li> <li>・＜再掲＞</li> <li>・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。</li> <li>・禁煙しやすい環境の整備を図ります。</li> <li>・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。</li> <li>・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。</li> </ul>

### 3. 計画の基本理念

「東大和市健康増進計画」の基本理念は、WHO（世界保健機関）が提唱した「ヘルスプロモーション」の考えた方に立って定められています。



(島内 1987, 吉田・藤内 1995を改変)

個人のエンパワーに加えて、住民組織のエンパワーや健康を支援する環境づくりが重要！

ヘルスプロモーションのめざすもの

「住民組織活動を通じたソーシャル・キャピタル醸成・活用にかかる手引き(平成 26 年度厚生労働科学研究補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業 地域保健対策におけるソーシャル・キャピタルの活用のあるり方に関する研究班)」より

ヘルスプロモーション：WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した21世紀の健康戦略です。「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されています。「すべての人々があらゆる生活舞台で健康を享受することのできる公正な社会の創造」を健康づくり戦略の目標としています。

目標実現のための活動方法として、「健康な公共政策づくり」、「健康を支援する環境づくり」、「地域活動の強化」、「個人技術の強化」、「ヘルスサービスの方向転換」を柱としています。活動の大きな特徴は、「住民や当事者の主体性を重視していること」、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えること」に重点がおかれています。



## 4. 計画の目標数値の設定

総合目標を達成するため、分野ごとに指標となる数値を設定しました。  
数値は、国や都が策定した関連計画の目標値を原則としました。



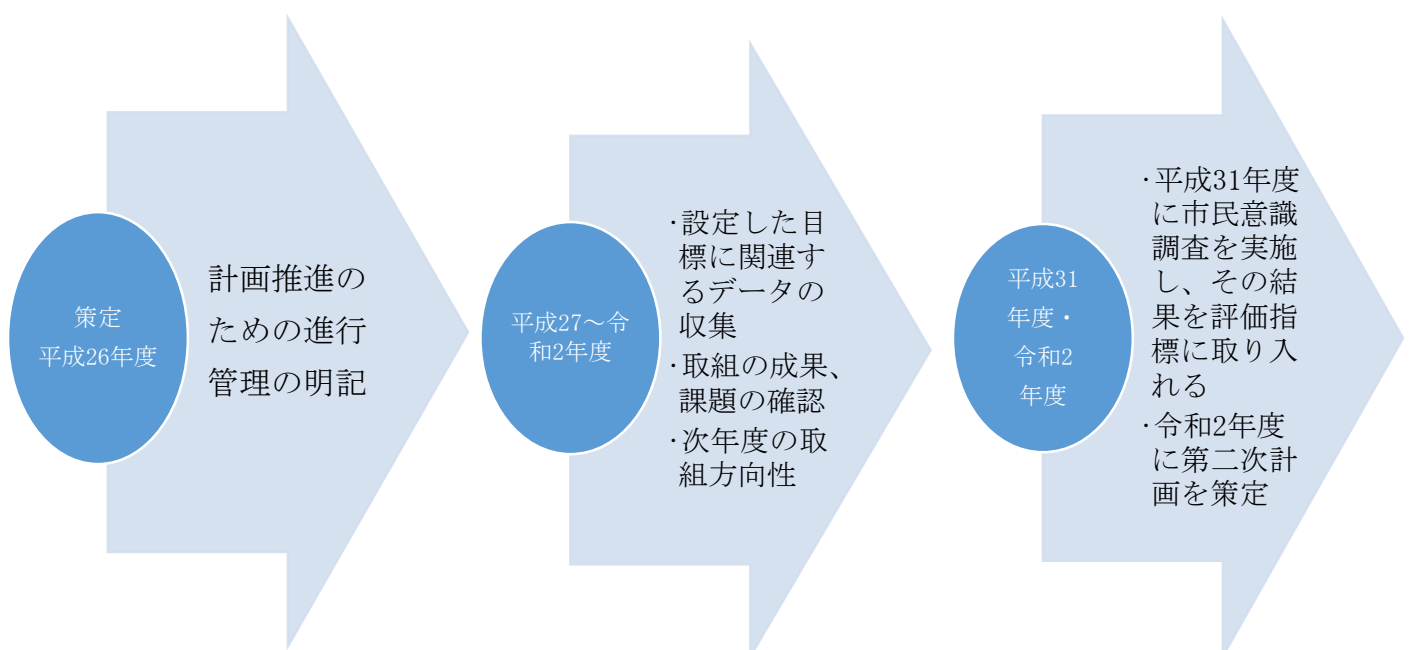
### 施策の目標

市民意識調査結果や各種統計資料から抽出した健康課題に対応する内容としました。



## 5. 計画の進行管理

健康づくりに関連した施策の推進を図るとともに、各年度の事業の実績・進捗について、地域福祉審議会に、報告し、意見を聴き、計画の進行管理や評価を行います。



## II 評価指標の関連基本データ

北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年度版

(単位：人)

1		H31/1/1	H30/1/1	H29/1/1	H28/1/1	H27/1/1	H26/1/1
	人口	85,565	85,718	85,945	86,101	86,162	85,297
	世帯	38,852	38,544	38,291	37,966	37,742	37,108

2		0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～	
	年齢構成比	H31/1/1	13.10%	60.10%	26.70%
		H30/1/1	13.30%	60.30%	26.40%
		H29/1/1	13.40%	60.80%	25.80%
		H28/1/1	13.50%	61.20%	25.30%
		H27/1/1	13.50%	61.90%	24.60%

(単位：人、%)

3		H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
	出生数	715	692	792	682	680
	合計特殊出生率	1.59	1.48	1.67	1.37	1.4
	低出生体重児率	9.2	9.4	8.7	8.2	10.6

(単位：歳)

4		A		B		
		男	女	男	女	
	65歳健康寿命	H28年度	83.3	86.4	81.6	82.9
		H27年度	83.1	86.3	81.5	82.9
		H26年度	83	86	81.4	82.8
		H25年度	82.6	85.6	81.3	82.7

※Aは「要介護2以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

※Bは「要支援1以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

(単位：歳)

5		男	女	
	平均寿命	H28年度	80.8	86.8
		H27年度	80.9	87.2
		H26年度	80.8	86.9
		H25年度	80.5	86.2

(単位：人・%) ※千分率

6		H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	死亡数	748	742	771	668	685	697
	死亡率	8.8	8.7	9.2	7.8	8.2	8.3

標準死亡比(平成28年)		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	心疾患	脳血管疾患
基準集団：	男	65.7	118.2	67			98.4	115
東京都(100)	女	140.5	112.5	117.6	73.3	100.7	78.1	98.2

7		H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	特定健康診査受診率	50.80%	51.60%	52.40%	52.20%	51.40%	50.50%
	保健指導実施率	8.90%	11.30%	11.30%	19.00%	8.00%	8.50%
	健康診査受診率(特定健診除く)	32.90%	35.90%	31.20%	29.40%	28.50%	27.50%

(単位：件)

8		H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	妊娠届出数	-	729	716	797	689	684
	新生児訪問	629	599	683	622		
	児童相談所受理件数	174	180	173	168	140	135

(単位：千円)

9	特別会計当初予算	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	国民健康保険	10,793,283	10,977,178	10,919,443	9,621,668	9,470,231	8,946,963
	後期高齢者医療	1,902,406	1,814,760	1,736,012	1,641,762	1,553,864	1,478,697
	介護保険	6,733,515	6,003,325	5,444,247	5,390,594	4,717,585	4,297,139

※各分野ごとのページに掲載しているデータは「北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版(東京都多摩立川保健所編集・発行)」から抜粋しています。

### Ⅲ 実施状況調査 1. 各分野ごとの各部別事業数

分野別 目標	部 施策	企画財政部	市民部	総務部	福祉部	子育て支援部	環境部	都市建設部	学校教育部	社会教育部	計
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進		1		5						6
	2 身体活動・運動		3		2	2		1	3	3	14
	3 休養				1						1
	4-1 飲酒				1						1
	4-2 喫煙 (3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)				1				1		2
	5 歯と口の健康づくり				6				1		7
第2節 健康づくりと環境の整備を通じた社会環境の改善	1 こころの健康・働く世代の健康づくり			4	5	1			2	3	15
	2 次世代の健康・母子保健対策の推進				17	12			8	3	40
	3 高齢者の健康		3		15					3	21
	4 社会環境整備		3		6		2			2	13
第3節 予防生活習慣病の予防	1 がん対策の推進				2						2
	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進		3		5						8
	3 循環器疾患の対策				1						1
	4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策(再掲)				1				1		2
計		0	13	4	68	15	2	1	16	14	133

### Ⅲ 実施状況調査 2. 各分野ごとの評価結果

分野別 目標	施策	結果	事業数	へ ル ス プ ロ モ ー シ ョ ン の 視 点	A住民や当事者の主体 性を重視した	B各個人がよりよい健康のための行動をとること ができるような政策等も含めた環境を整えた	今 後 の 方 向 性	1 継続	2 改善等検討
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進		6		5	6		6	
	2 身体活動・運動		14		11	12		14	
	3 休養		1		1	1		1	
	4-1 飲酒		1		1	1		1	
	4-2 喫煙 (3-④「COPD」慢性閉塞性 肺疾患対策を含む)		2		2	2		2	
	5 歯と口の健康づくり		7		7	7		6	1
小計			31		27	29		30	1
第2節 健康づくり 社会環境 の整備 を通じて	1 こころの健康・ 働く世代の健康づくり		15		10	10		14	1
	2 次世代の健康・ 母子保健対策の推進		40		19	30		36	4
	3 高齢者の健康		21		16	19		19	2
	4 社会環境整備		13		9	8		13	
小計			89		54	67		82	7
第3節 予防生活 習慣 の 予防	1 がん対策の推進		2		1	2		1	1
	2 糖尿病・ メタボリックシンドローム予防 対策の推進		8		6	8		5	3
	3 循環器疾患の対策		1		1	1		1	
	4 「COPD」 慢性閉塞性肺疾患の対策 (再掲)		2		2	2		2	
小計			13		10	13		9	4
計			133		91	109		121	12

### 3. 実施状況調査結果の概要

平成30年度の実施事業については、地域福祉審議会の答申に基づき、各事業の評価にあたっては、ヘルスプロモーションを重要な視点として、これまでの評価区分から変更した。

また、実施事業内容の記載は、「住民や当事者の主体性・環境整備、課題、前年度と比較して工夫した点、参加者の地域特性」を視点とした。

事業の参加者の地域ごとの割合など、地域の特性の分析は可能な範囲で記載した。

(1) 調査結果表の見方：分類番号は、下記一覧の中から該当する主目的を各課が選択

- 1-①： 栄養・食生活、食育の推進
- 1-②： 身体活動・運動
- 1-③： 休養
- 1-④-1： 飲酒
- 1-④-2： 喫煙
- 1-⑤： 歯と口の健康づくり
- 2-①： こころの健康・働く世代の健康づくり
- 2-②： 次世代の健康・母子保健対策の推進
- 2-③： 高齢者の健康
- 2-④： 社会環境整備
- 3-①： がん対策の推進
- 3-②： 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- 3-③： 循環器疾患の対策
- 3-④： 「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策

・「ヘルスプロモーション」の視点の有無について各課が選択

A及びBに該当する視点がある場合は、○

A 住民や当事者の主体性を重視した

B 各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

・今後の方向性

事業内容やヘルスプロモーションの視点を踏まえ各課が選択

1 継続

2 改善等検討

## (2) 各分野ごとの各部別事業数

### ①「第1節 生活習慣の改善」

- ・市民部、福祉部、子育て支援部、都市建設部、学校教育部、社会教育部の6つの部において31の関連事業が実施されていた。
- ・最も多い項目は「身体活動・運動」の14事業で、6つの部すべてにおいて事業が実施されていた。
- ・次いで多い項目は「歯と口の健康づくり」の7事業、「栄養・食生活、食育の推進」の6事業であり、市民部、福祉部、学校教育部において実施されていた。

### ②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・事業実施数は、全分野を合わせた133の全ての事業のうち、最も多い89事業が実施され、66.9%を占めていた。
- ・企画財政部と都市建設部を除いた各部において、関連事業が実施されていた。
- ・89事業のうち、担当部署ごとの事業実施数は、福祉部の43事業が最多で、次いで子育て支援部の13事業、学校教育部の10、事業社会教育部の11事業となり、4つの部でそれぞれ二桁以上の事業が実施されていた。
- ・事業のうち、最も多い項目は「次世代の健康・母子保健対策の推進」の40事業であり、福祉部、子育て支援部、学校教育部、社会教育部の4つの部において実施されていた。
- ・次いで多い項目は「高齢者の健康」の21事業で、市民部、福祉部、社会教育部の3つの部において実施されていた。
- ・「こころの健康・働く世代の健康づくり」は15事業、「社会環境の整備」は13事業となっており、総務部では、「こころの健康・働く世代の健康づくり」の関連事業が、環境部では「社会環境の整備」の関連事業が実施されていた。
- ・福祉部、社会教育部では、4つの項目全てにおいて、関連事業が実施されていた。

### ③「第3節 生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・市民部、福祉部、学校教育部の3つの部において、13の関連事業が実施されていた。市民部、福祉部の2つの部において、「糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進」の関連事業が実施されていた。

## (3) 各分野ごとの評価結果

### ①「第1節 生活習慣の改善と推進」

- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、27事業で「A住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、29事業において、「B各個人がよ

りよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

- ・今後の方向性としては、1事業が「2改善等検討」となっていた。

②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、54事業で「A住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、67事業において、「B各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

- ・今後の方向性としては、7事業が「2改善等検討」となっていた。

③「第3節 生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、10事業で「A住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、13事業において、「B各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

- ・今後の方向性としては、4事業が「2改善等検討」となっていた。

#### 4. 地域福祉審議会 答申[抜粋]

実施状況報告書については、ヘルスプロモーションの理解がすすむようわかりやすい図を入れるなどの工夫や、各事業ごとに今後の方向性を示したことで、改善点や検討事項などの課題が明確に記載されるなど、充実が図られていました。今後も報告書の課題を反映し、適切な事業管理を行ってください。

また、平成27年度からの各年度ごとの実施事業報告書の内容を踏まえて、令和2年度に「東大和市健康増進計画」の最終評価を行い、第2次計画の策定に活用してください。



## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 1 栄養・食生活、食育の推進【分類番号1-①】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
1-① 1	農業振興対策 ・体験事業	東大和市 <sup>ンサイ</sup> 蔬菜園芸組合に委託して実施。農産物の収穫等の体験を全5回行った。各回25組を上限とした。ほぼ全ての体験事業において、20組以上の参加があった。	○	○	1	産業 振興課
1-① 2	離乳食講習会 幼児食講習会	教室後のアンケートを参考に家庭でも作りやすい方法を重視し提供した。他職種とも連携し個別相談（栄養、保健、歯科）を行った。離乳食講習会 22回 参加者202人（個別相談72件）幼児食講習会 3回 参加者28人（個別相談9件）	○	○	1	健康課
1-① 3	親子料理教室	作成するメニューは、教室後のアンケート結果による参加者の要望を取り入れた。教室開催の周知が行き渡るよう、学校や保育所等にチラシやポスターを配布した。小学生と保護者対象に2回実施。参加者数57人	○	○	1	健康課
1-① 4	生活習慣病 予防教室	年2回実施 参加者延50人 若年健診（20～39歳）受診者で血圧値のリスク者へ教室の案内を送付し、受講を勧奨した。15名案内送付したが、その中からの参加は0名。	○	○	1	健康課
1-① 5	食育推進事業	教室後のアンケート結果から取り上げるテーマ等を考慮した。学校や保育所等にチラシやポスターを配布し事業の周知が行き渡るようにした。幅広い食育をテーマにした教室を4回実施。参加者数59人	○	○	1	健康課
1-① 6	食育 ネットワーク 会議	健康的な間食に関するリーフレットを作成し、関連事業で配布し啓発に努めた。食育推進コーナーを用いて、市の食育の取り組みを紹介。会議は年4回開催した。	—	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 2 身体活動・運動【分類番号1-②】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
1-② 1	国民健康 保険事業 保険衛生 諸事業	運動習慣の機会を提供することで、健康寿命の延伸を図るため、市民体育館の指定管理者と連携し、東大和市ロンドみんなの体育館のトレーニング室又は当日参加型教室の無料体験利用及び健康状態に即した運動相談を実施した。 対象者:特定健康診査、特定保健指導又は人間ドックを受診等した国民健康保険被保険者等 利用人数:延89人	○	○	1	保険 年金課
1-② 2	観光推進事業 うまかんべえ～ 祭「うまかん べえ～ウォーキ ング」	西武鉄道(株)とうまかんべえ～祭実行委員会の共催で、うまかんべえ～祭と同時開催。スタートは拝島駅、ゴールはうまかんべえ～祭会場(都立東大和南公園)とし、参加者は1,675人。	○	○	1	産業 振興課
1-② 3	スイーツ ウォーキング	スイーツウォーキング実行委員会との共催で実施。市内を2コースに分け、各コース300人(計600人)定員とした。参加者は計546人。	○	○	1	産業 振興課
1-② 4	児童館運営事業 ・クラブ活動	各児童館において、小学生を対象にクラブ活動を実施した。 総クラブ数4事業 参加者 延1,345人 小学生の活動意欲向上のため対応した。	○	○	1	青少年 課
1-② 5	児童館運営事業 ・各種行事	各児童館において、地域の団体やボランティアの協力を得ることにも努め、季節に沿った行事などを実施した。 総行事数99件 参加者 延9,835人 児童館の地域特性を考慮し事業を展開した。	—	○	1	青少年 課
1-② 6	都市計画 事務事業 ・ウォーキング マップの 印刷配布	市民等が市の自然や文化財に親しみながら街の散策を行えるようウォーキングマップの印刷・配布を行った。 配布部数 郷土博物館編 2,300部 多摩湖編 2,480部 野火止用水編 1,590部 桜が丘編 2,280部	—	○	1	都市 計画課
1-② 7	学校行事 ・部活動等運営 支援事業 ・第42回中学校 体育大会	市内中学校部活動(バトミントン、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、野球、サッカー、バレーボール、硬式テニス)の大会を支援した。	○	○	1	教育 指導課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
1-② 8	学校行事 ・部活動等運営 支援事業 ・第9回中学生 「東京駅伝」大会	市内中学校の部活動から選抜された42名の選手について、都立東大和高等学校陸上部との合同練習や、団結式を行うための支援をした。	○	○	1	教育 指導課
1-② 9	子どもの体力向上推進事業	希望する小・中学校において体力向上・運動習慣定着を目指す特別授業（走り方教室・ハンドボール教室等）を実施した。 市内小学校8校・中学校1校で実施	○	○	1	教育 指導課
1-② 10	スポーツ推進 委員活動事業	体力測定やニュースポーツで遊ぼう、グラウンドゴルフ大会等、幅広い層に対してスポーツ事業を実施。 重点的に実施している障害者スポーツ「ボッチャ大会」では、体験会を2回、大会1回開催した。	○	—	1	社会 教育課
1-② 11	スポーツ振興 事業	車椅子バスケットボール大会、ロードレース大会及び多摩湖駅伝大会など。 特に多摩湖駅伝については、平成31年度のコース変更にむけて、実行委員会とともにコース案の協議を一年かけて行った。	○	—	1	社会 教育課
1-② 12	体育施設運営 事業	体育施設の充実を図るため、市民体育館第一体育室のバスケットゴール更新工事、桜が丘市民広場トイレバリアフリー化工事を行った。	—	○	1	社会 教育課
1-② 13	いきいき ヘルシー教室	いきいきヘルシー教室 年2回実施 参加者延38人（女性37人男性1人） 保育延5人 65歳未満の参加者を増やすため、前後期とも保育付で実施。後期からは子育てひろばでもポスター掲示。	○	○	1	健康課
1-② 14	骨粗鬆症検診	健康カレンダーや市報で周知を図った。 対象者：40～70歳の5才節目の女性 受診者数 157人（昨年とほぼ同数）	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 3 休養【分類番号1-③】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性	担当課
					1 継続 2 改善等検討	
1-③ 1	女性のいきいき 健康教室	年2回実施 参加人数延15人。前後期とも保育 付で実施。 前期「若いときからキラキラ健康生活」  前期は参加者を20～40歳代に限定。 後期「骨粗しょう症予防！健康な骨づくりをは じめましょう」 こころの体温計リーフレット配布し、睡眠休養 に関してふれた。	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 4-1 飲酒【分類番号1-④-1】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性	担当課
					1 継続 2 改善等検討	
1-④ -1 1	普及啓発・情報 提供	妊娠届出時に妊婦の飲酒状況を確認し、情報提供と助言指導を行った。 ◎妊婦数608人のうち ①時々飲む13.2% (80人) ②飲む3.0% (18人)	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 4-2 喫煙(3-4「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)【分類番号1-④-2】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性	担当課
					1 継続 2 改善等検討	
1-④ -2 1	学童への たばこ対策	小・中学校の校舎内及び敷地内を全面禁煙として教職員、来校者及び保護者への周知徹底を図った。	○	○	1	教育 指導課
1-④ -2 2	妊娠育児期間及 び乳幼児への たばこ対策	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況を確認し、家族も含む喫煙の影響・受動喫煙の情報提供を行った。◎妊婦数608人のうち喫煙者1.5% (9人)	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

#### 5 歯と口の健康づくり【分類番号1-⑤】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版>

乳幼児健診		H29年度	
1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
う蝕有病率	一人当たりむし歯数	う蝕有病率	一人当たりむし歯数
1.1%	0.02	11.9%	0.35

小中学生				H29年4月1日から6月30日までの健康診断結果による			
小学校				中学校			
被患率	未処置者率	被患率		被患率	未処置者率		
51.63%	27.63%	53.40%			26.85%		

中学校第1学年 DMFT指数(1人平均むし歯経験数) 各年4月1日から6月30日までの健康診断結果による			
H29年	H28年	H27年	H26年
1.13	1.31	1.57	1.32

歯周疾患検診				H28年度			
受診者数	要精検者数	要指導者	異常を認めず				
299	252	27	20				

※う蝕とはむし歯のことです。データ集掲載の用語のまま転載しています。

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
1-⑤ 1	学校歯科保健取組プランの実施	むし歯被かん率を減少させるため、むし歯のある児童・生徒に受診勧奨通知を出した。また小中学校では東京都のポスター・標語コンクールの募集を働きかけ、応募し、歯科保健に対する意識の向上を図った。また、学校歯科医による歯みがき指導や、給食後の歯みがき等を行い、むし歯予防に努めた。	○	○	1	教育 総務課
1-⑤ 2	妊婦歯科健康診査	母子手帳発行時に受診勧奨し、かかりつけ歯科医の重要性について周知した。受診者214人のうちかかりつけ歯科医を持っている妊婦 95人 (44.4%)	○	○	1	健康課
1-⑤ 3	母子保健事業 歯科相談	スマイルクラス(4歳児歯みがき教室)は、参加者が前年度まで少なかったことから、対象を市内の4歳児と保護者にと拡大した。4歳児参加者41人、妹弟1人 年齢対象外10人、保護者41人(合計93人)	○	○	1	健康課
1-⑤ 4	歯周病予防 講演会	テーマ「噛む力=生命力~食事をしっかり噛むことができますか~」参加者9人 平成27年度参加者28人、平成28年度参加者20人、平成29年度参加者7人 参加人数の減少が課題であり、実施内容を工夫する必要がある。	○	○	2	健康課



## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
		住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性				
1-⑤ 5	歯周疾患検診	40、50、60、70歳の対象者のうち、40歳の市民 に対して、直接検診票を送付したことで申し込 み不要とし、受診しやすい環境を整えた。 受診者数 107人	○	○	1	健康課
1-⑤ 6	歯科医療連携 事業	訪問歯科診療を推進した。新規相談件数50件	○	○	1	健康課
1-⑤ -7	歯科衛生指導 職員派遣	あらかじめ日程を指定し、派遣調整が円滑にな るよう工夫した。派遣先の職員も含めて歯みが きや虫歯予防など歯科保健における健康づくり の啓発が実施できた。	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

#### 1 こころの健康・働く世代の健康づくり【分類番号2-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版>

① 年代別自殺件数・自殺死亡率 平成29年人口動態統計から

総数		男		女		年代別件数			
件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	10～29	30～49	50～69	70以上
14	16.50%	11	26.50%	3	6.90%	2	3	7	2

② 従業者規模別事業所数 平成26年7月1日現在

総数		1～4人		5～9人		10～19人		20～29人	
事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
2,662	100.0%	1,598	60.0%	488	18.3%	295	11.1%	106	4.0%

30～49人		50～99人		100人以上		出向・派遣従事者のみ	
事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
104	3.9%	41	1.5%	23	0.9%	7	0.3%

従業産業別事業所数 平成26年7月1日現在

総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業
2,662	1	502	2,159

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-① 2	健康管理	職員等の定期健康診断、胃検診、VDT検診、大腸がん検診、採用時健診、特定保健指導等を実施した。 受診者数合計：876人	○	○	1	職員課
2-① 3	メンタル ヘルス対策事業	臨床心理士によるメンタルヘルス相談を実施した。実施回数：36回 利用人数：111人 ストレスチェックを実施した。受検者数：609人 受検率：92.27%	○	○	1	職員課
2-① 4	職場環境整備	①産業医による職場巡視を実施した。実施回数：10回（健康相談等がある場合は実施せず） ②衛生委員会を開催した。開催回数：7回（4月と議会月は実施せず）	○	○	1	職員課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-① 5	福祉事務所 嘱託医	一般医及び精神科医による、生活保護受給者の 医療等要否意見書の審査を実施した。 審査日数 一般医 : 51日 精神科医 : 23日	—	—	1	生活 福祉課
2-① 6	法外援護事業 ・健康支援	主治医の保健指導に基づく健康管理機器の購入 費用等を支給した。 利用者数：3人	—	○	1	生活 福祉課
2-① 7	生活保護費 支出 ・医療扶助	生活保護受給者に対し、健康で文化的な最低限 度の生活の保障のために必要となる医療費の扶 助を実施した。 医療扶助費：1,390,576千円	—	—	1	生活 福祉課
2-① 8	中国残留邦人等 生活支援 給付・支出状況 医療支援、出産 支援	永住帰国した中国残留邦人等に対し、自立の支 援のために必要となる医療費の給付を実施し た。 医療支援給付費：12千円	—	—	2	生活 福祉課
2-① 9	ひとり親家庭 ・女性相談 ・医療健康相談	ひとり親及び女性の、生活一般相談（医療・健 康・家庭等）を135回行った。 インターネットの普及により、相談件数は上下 しながら緩やかに減少している。	—	—	1	子育て 支援課
2-① 10	教育センター 運営事業 さわやか教育 相談「精神・ 身体に関する」	市内に在住又は在学する児童・生徒の教育上の 諸問題に関する相談活動を通じて、一層の教育 相談の充実を図ることを目的に実施した。 精神・身体に関する相談件数は9件で、前年度 より増加している。	○	—	1	教育 指導課
2-① 11	教育センター運 営事業 スクールソー シャルワーカー 相談事業「精 神・身体に関す る」	問題を抱える児童・生徒の状況を的確に把握 し、当該児童・生徒が置かれた環境へ働きかけ たり、関係機関とのネットワークを活用して連 携したり、問題の改善及び軽減を図ることを目 的に実施した。 精神・身体に関する相談件数は7件で、前年度 より増加している。	○	○	1	教育 指導課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-① 1 2	各図書館事業	自殺予防図書展の実施（中央図書館）  一般書の展示冊数を増やし、展示期間中にも追加したところ、たくさんの方が本を手にとってくれた。	○	○	1	中央 図書館
2-① 1 3		自殺予防図書展の実施（桜が丘図書館）  社会問題となっていることもあり、多くの方が足を止めて本を手にとっているのが見受けられた。	○	○	1	中央 図書館
2-① 1 4		自殺予防図書展の実施（清原図書館） 東京都等他機関が実施するセミナーのちらしを併せて掲出するなどした結果、他テーマの図書展より多くの貸出があり、市民の意識向上に資することができた。	○	○	1	中央 図書館
2-① 1 5	成人保健事業 こころの健康 づくり事業	1 講演会のテーマを老年期に絞り、国立精神 神経医療研究センター病院から講師を招いた。 【講演会】 ①前向きに老いを受け入れよう（31人） ②病気になった時でも自分らしく生きるために （45人） ③笑顔で気持ちよく年を重ねてこころ豊かに （22人） 2 こころの健康相談 年9回（市民5人・関係 機関8人） 3 こころの体温計 年間アクセス数20,706件	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

#### 2 次世代の健康・母子保健対策の推進【分類番号2-②】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版>

① 乳幼児健診 H28年度

3～4か月児健康診査		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
受診率	有所見率	受診率	有所見率	受診率	有所見率
96.1%	24.1%	93.1%	18.6%	93.8%	25.9%

② 定期予防接種 H29年度

四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎)		ポリオ		二種混合(ジフテリア・破傷風)		麻しん・風しん(MR)		日本脳炎			結核(BCG)
第1期初回計	第1期追加	第1期初回計	第1期追加	第2期	第1期	第2期	第1期初回計	第1期追加	第2期		
99.0%	94.9%	-	-	72.1%	97.7%	97.8%	109.7%	105.7%	102.5%	97.9%	

Hb感染症		小児の肺炎球菌感染症		ヒトパピローマウイルス感染症			水痘		B型肝炎		
初回計	追加	初回計	追加	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第1回	第2回	第3回
99.6%	99.9%	98.9%	99.6%	-	-	-	97.6%	82.1%	97.9%	98.3%	104.4%

ポリオ(第1期初回計、第1期追加)は接種実績はあるが、対象者数が得られないため接種率が算出できない。  
前年度の対象者が本年度に接種した場合は、「対象人員」には計上せずに「実施人員」にのみ計上していることから実施率が100%を超える場合がある

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-② 2	生活保護費 支出・ 出産扶助	入院助産制度等の他法他施策を利用できない生活保護受給者に対し、分べんに要する必要最小限度の費用を扶助した。 出産扶助費：255千円	—	—	1	生活福祉課
2-② 3	乳幼児 医療費 助成事業	義務教育就学前の乳幼児を養育している方に、乳幼児に係る保険診療の自己負担分の医療費を助成した。 対象乳幼児数(3月末現在)：4,964人	—	—	1	子育て支援課
2-② 4	義務教育 就学時 医療費 助成事業	小・中学生の児童を養育している方に、児童に係る保険診療の自己負担分の医療費の一部を助成した。 対象児童数(3月末現在)：5,782人	—	—	1	子育て支援課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性		担当課
					1 継続	2 改善等検討	
2-② 5	子ども家庭 支援センター 児童家庭相談	子育てに関する様々な相談に対応し、必要なサービスの提供及び関係機関との調整等を行い、子どもの安定した生活の確保や親の育児支援の向上を図ることができた。専門相談については、平成30年度は心理士が不在であったため実施することができなかった。 【相談件数】 新規223件、延べ6,993件 【出張相談（児童館等8か所）】 実施回数48回、相談件数27件 【専門相談】 巡回相談実施回数0回 心理相談件数 0件	○	—	1		子育て 支援課
2-② 6	子育てひろば ・子育て相談 ・子育て啓発	市内3保育園に事業委託し、子育て園内開放や育児講座等を広域にわたり計画的に実施したことで、孤立しがちな子育て家庭の支援を図ることができた。 【子育てひろば（子育て啓発事業）】 ※大和南保育園／れんげ上北台保育園／玉川上水保育園 ・園内開放：95回／166回／184回 ・育児講座：13回／10回／8回 ・教室等：21回／63回／72回	○	○	1		子育て 支援課
2-② 7	ひとり親家庭 等医療費 助成事業	ひとり親家庭またはそれに準ずる家庭で、18歳に達した日の属する年度の末日まで（一定の障害がある場合は20歳未満）の児童を養育している方及びその児童に係る保険診療の自己負担分を助成した。 対象世帯・対象者数（3月末現在）：610世帯 1,323人	—	—	1		子育て 支援課
2-② 8	保育園 健康管理 状況	平成30年度に新規開園した保育施設も含め、市内保育施設24園において、健康診断を年2回実施した。健康診断の実施により児童の健康管理に役立てている。	○	—	1		保育課
2-② 9	病児・病後児 保育事業	リカ 罹患中又は病気回復期の児童を保育する事業であり、市内医療機関に委託した。 実施人数：1,071人	○	○	1		保育課
2-② 10	助産実施事業	保健上入院して分娩する必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦に対して助産施設（病院等）で助産を実施し、その費用の助成を行った。 実施人数：12人（内1人都立利用） 事業対象世帯は、妊産婦がいる生活保護世帯や、非課税世帯。	—	—	1		子育て 支援課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-② 1 1	やまと あけぼの学園 ・健康管理 状況	小児科医診察：11回 整形外科医診察：11回 神経科医診察：11回 理学療法訓練：12回 作業療法訓練：22回 言語療法訓練：12回 音楽療法訓練：23回 心理相談観察等：29回 尿検査：1回 歯科健康診査：1回 発育測定：12回 嘱託医による診察と各種療法士による訓練、心理相談員による発達検査及び相談、発育測定等を実施し、児童の療育と健康管理に役立てている。さらに児童の発達を支援していくためには、専門職間の連携が課題となる。	—	○	1	保育課
2-② 1 2	やまと あけぼの学園 ・遊びの会 ・外来相談	①遊びの会 たんぼぼグループ延べ参加幼児数：321人 にこにこグループ延べ参加幼児数：104人 ②外来相談延べ参加幼児数：4人 ①、②とも月2～4回程度の親子参加の開催で、保護者からの聞き取りにより健康に関するアドバイスを等を行っている。保育以外の専門職による保健指導の充実が課題である。	—	○	1	保育課
2-② 1 3	狭山保育園 ・健康管理 状況	(園児対象) ・発育測定12回/年・健康診断(0歳児)12回/年、延71人/106人(全園児)2回/年、延167人/172人 ・歯科健康診断1回/年、延78人 ・歯科衛生指導1回/年、延38人 ・視力検査(3歳以上児)1回/年、延42人	—	○	1	保育課
2-② 1 4	児童館運営 事業 子育て支援 事業	各児童館において、乳幼児サークルや乳幼児を対象とした行事を実施した。 総事業数35事業 参加人数 延数6,899人 保護者同士の交流の場を設けたことにより、保護者の悩みや不安の解消の一助とした。	○	○	1	青少年課
2-② 1 5	就学指導事業 就学時 健康診断	小学校入学予定者の健康状況等を的確に把握するため、内科・歯科・視力・面談等を実施した。 受診者数762人	—	○	1	教育 総務課



## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-② 16	健康管理 事業 学校保健 運営連絡会	学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校関係者 参加の「学校保健運営連絡会」を開催した。 プール指導の可否基準の確認、学校医等による 助言、学校医による講演を行った。 参加人数36人	○	○	1	教育 総務課
2-② 17	健康管理 事業 小学校環境 衛生検査	児童及び教職員の健康保持・増進を図るため、 学校薬剤師等による環境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 全校全項目 適	—	○	1	教育 総務課
2-② 18	健康管理 事業 小学校定期 健康診断	児童の健康の保持・増進を図るため、定期健康 診断（身長・体重・視力、歯の疾患、耳鼻咽喉 疾患、結核、心臓、側わん症等）を行った。 受診者数4,438人	—	—	1	教育 総務課
2-② 19	健康管理 事業 中学校環境 衛生検査	生徒及び教職員の健康保持・増進を図るため、 学校薬剤師等による環境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 全校全項目 適	—	○	1	教育 総務課
2-② 20	健康管理 事業 中学校定期 健康診断	生徒の健康の保持・増進を図るため、定期健康 診断（身長・体重・視力、歯の疾患、耳鼻咽喉 疾患、結核、心臓、側わん症等）を行った。 受診者数2,072人	—	—	1	教育 総務課
2-② 21	研究奨励事業・ 公立学校 研究会補助金 研究会 (小学校体育)	本事業は、課題となっている教育内容につい て、校内研究活動を奨励することで本市教育の 充実に寄与することを目的に、当該研究活動の 運営に係る経費を補助した。 今年度は器械運動領域について、低・中・高と 学年に応じた提案授業を実施し、教科に関する 理解を深めた。	—	○	1	教育 指導課
2-② 22	研究奨励事業・ 公立学校 研究会補助金 研究会 (小学校学校保 健)	本事業は、課題となっている教育内容につい て、校内研究活動を奨励することで本市教育の 充実に寄与することを目的に、当該研究活動の 運営に係る経費を補助した。 今年度は「正しい薬の使い方」「がん教育」 「命の授業」について研究授業を実施し、教科 に関する理解を深めた。	—	○	1	教育指 導課
2-② 23	郷土博物館事業 ・プラネタリウ ム 特別投影：もう すぐママのプラ ネタリウム	妊婦を対象としたプラネタリウム投影は終了 し、乳幼児を連れた親子を対象とした「ひよこ プラネタリウム」に変更し実施した。	—	○	2	社会 教育課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-② 24	各公民館活動	蔵敷公民館事業 子育て世代対象講座「やわらか子育て」 全4回実施 参加人数 延49人	○	○	2	中央 公民館
2-② 25		狭山公民館事業 親子講座「ハッピータイム」 全5回実施 参加人数 延55人	○	○	2	中央 公民館
2-② 26	母子保健事業 健康教育 両親学級	産後に同窓会として参加する回を継続し、妊婦 と産婦が交流会し、また、妊婦の夫や父親も参 加することで、出産や育児のイメージをもてる ようにした。	○	○	1	健康課
2-② 27	予防接種事業	各予防接種について、対象となる年齢（月齢） の前月末に案内を送付することにより、計画的 な接種を促進した。また、MR（麻しん・風し ん）予防接種については、未接種者に対してき め細かな勧奨を実施しており、国が目標として いる接種率95%をクリアしている。 〈MR接種率〉 第1期 100.3% (700人/698通) 第2期 96.7% (752人/778通) ※ 接種者数/新規案内発送数	—	○	1	健康課
2-② 28	母子保健事業 歯科相談 （再掲）	他事業などで、常に歯科の相談ができることを 周知した。 電話相談2人、窓口相談5人 合計7人	○	—		健康課
2-② 29	妊娠届出 母子健康 手帳交付	母体の安全と胎児の健やかな発育のために速や かな届出の啓発を継続した。また、妊娠届出時 の面接で妊娠期から出産子育ての情報提供を 行った。今後も継続して相談窓口として十分に 活用されるよう啓発を更に工夫していく。交付 人数608人	○	○	1	健康課
2-② 30	妊婦健康診査	健診受診票1～14回及び超音波検査, 子宮頸がん 検診を委託医療機関にて実施した。 受診者数延 7,810人 また、里帰り等受診票未使用者へ助成金を支給 した。 支給人数 101人	—	○	1	健康課
2-② 31	妊産婦 訪問指導 新生児 訪問事業	新生児訪問指導を早期に全数実施できるよう に、出生通知票受理後の事務手続き等を速やか に行う必要性の啓発に努めたことにより、日齢 28日未満での訪問率が上昇した。（H29年度 23.6%、H30年度24.7%）	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-② 3 2	乳幼児 健康診査	3～4か月児健康診査 受診者数629人（受診率95.9%） 1歳6か月児健康診査 受診者数 646人（95.6%） 3歳児健康診査 受診者数 683人（93.7%） 5歳児健康診査 受診者数 689人（88.3%） 高い受診率を維持できた。未受診者については、受診勧奨をアプローチするとともに子育て 部署と連携しながら状況把握ができるように、 引き続き努めた。	○	○	1	健康課
2-② 3 3	乳幼児 健康診査 継続事業	発達健康診査 年32回 受診者延 154人 経過観察健診 年12回 受診者延 61人 経過観察発達相談 年120回 相談者数延 393人 充実した事業を継続するために、専門医や心理 相談員の確保に努めた。	○	○	1	健康課
2-② 3 4	母子保健事業 健康教育 育児学級	乳児健診、離乳食講習会の来所者から不安・悩 みが多い母親を対象としてお誘いし、その解消 と育児の仲間作りの場として開催しているが、 年々参加者が減少しグループの効果が得難く なっている。事業運営の見直しが必要。	○	○	2	健康課
2-② 3 5	母子保健事業 健康教育 職員派遣	保健関連では、妊娠期からの支援や健診につい て当事者の他に、関係機関に健康教育を実施 し、今後の連携強化に役立てた。 栄養関連では、離乳食についての健康教育や相 談を実施し、健康課事業の紹介等も実施した。	○	○	1	健康課
2-② 3 6	母子保健事業 個別相談 すこやか広場	母子の健康の推進のため、新生児訪問や乳幼児 健診等でチラシを配布し周知に努めた。	○	○	1	健康課
2-② 3 7	母子保健事業 特定不妊 治療費助成	高額な不妊治療を受けた方の医療費の負担軽減 を図り、少子化対策に寄与することを目的とし 助成した。 助成件数 69件	—	○	1	健康課
2-② 3 8	母子保健事業 未熟児 養育医療 給付	医師が入院養育の必要と認めた未熟児に対し、 医療の給付を行った。 申請件数 16件 給付件数（延）48件	—	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
整理 番号						
2-② 39	子育て 応援事業	<p>出産、子育ての相談の場として保健センターを周知し、同時に世代間交流の機会の創出を目的に育児パッケージの配布をシルバー人材センターに委託して実施したが、効果が十分でなく内容を再検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者数 531人</li> <li>・配布者数 527人</li> </ul>	—	○	2	健康課
2-② 40		<p>子育て支援に役立つ情報や機能を有するアプリケーションを配信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報：健康ウォーキングマップ</li> <li>・機能：子どもの成長記録機能、予防接種、歩数計</li> <li>・ダウンロード数 525件</li> <li>・iOSセッション数 6,069件</li> </ul>	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

#### 3 高齢者の健康【分類2-③】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版>

① 介護保険の認定状況 総数 H30年3月31日現在

要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		要介護計		認定者総数	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
880	21.4%	614	14.9%	465	11.3%	426	10.4%	316	7.7%	2,701	65.7%	4,112	100.0%

要支援1		要支援2		要支援計	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
751	18.3%	660	16.1%	1,411	34.3%

介護保険の認定状況 65歳以上

要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		要介護計	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
870	21.6%	592	14.7%	459	11.4%	412	10.3%	305	7.6%	2,638	65.6%

要支援1		要支援2		要支援計	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
740	18.4%	641	15.9%	1,381	34.4%

認定者総数		第1号被保険者	
人数	割合	人数	割合
4,019	100.0%	22,770	

② 高齢者の就業状況等 平成30年3月31日現在

老年人口 65歳以上	高齢者の就業状況 (65歳以上)		老人クラブ		シルバー人材センター					
	就業者 総数	うち主に 仕事	老人クラブ 数	会員数	年度末 会員数	就業実人員		就業率		
						請負	派遣	請負	派遣	
22,605	4,473	3,154	16	856	645	549	516	33	80.0%	16.8%

③ 定期予防接種 H29年度

インフルエンザ		高齢者の肺炎球菌感染症	
65歳以上	60~65歳未満	65歳	60~65歳未満
47.9%	47.1%	36.3%	7.7%

ヘルス プロモーション
A:住民や当事者の主体性を重視した
B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-③ 2	後期高齢者 医療事業 保健衛生 諸事業	被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部（上限1件23,000円）を助成した。申請者：149件	—	○	1	保険 年金課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-③ 3	高齢者 日常生活 支援事業 ・寝具の乾燥 及び水洗い	身体上の障害のため寝具の自然乾燥等が困難な65歳以上のひとりぐらし高齢者及び高齢者のみの世帯に、寝具の乾燥及び水洗いを実施し、衛生と健康の保持を図った。 利用者数：乾燥18人・水洗い13人	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 4	高齢者安心・見 守り食事サービ ス	心身機能の低下により、買物及び炊事が困難と認められる65歳以上のひとりぐらし高齢者及び高齢者のみの世帯に、定期的（年末年始を除く。）に食事を配達するとともに、利用者の健康状態、生活状況等における異常の有無を確認するなど安否確認を行うサービスを提供した。 利用者数：67人 延配食数：8,411食	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 5	高齢者 日常生活 用具の給付	介護保険法に規定する要介護又は要支援に該当しない65歳以上の高齢者で、生活機能が低下したと認められるものに、自立を支援するための日常生活用具の給付を行い、日常生活動作の容易性の確保を図った。 給付件数：1件	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 6	高齢者 住宅改修の 給付	65歳以上の高齢者に、住宅改修予防給付又は住宅設備改修給付を行い、在宅の高齢者の住宅内における転倒予防、動作の容易性の確保、行動範囲の拡大の確保、介護者の介護の軽減等を図った。 住宅改修予防給付：3件 住宅設備改修給付：9件	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 7	老人性 白内障 眼鏡等 購入費助成	老人性白内障治療のための手術を受けた65歳以上の高齢者に対し、手術後に使用する特殊眼鏡等の購入に要した費用相当額（特殊眼鏡40,000円以内、コンタクトレンズ25,000円以内）を助成し、高齢者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図るものであるが、助成実績はなかった。 助成件数：特殊眼鏡0件、コンタクトレンズ0件	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 8	認知症 サポーター 養成講座	認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアを要請するため認知症サポーター養成講座を開催した。 定期開催 4回 団体向け開催 8団体13回 市職員向け開催 1回	○	—	1	高齢 介護課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-③ 9	東大和元気ゆう ゆうポイント事 業	介護予防活動に参加した65歳以上の方等を対象に、活動1回につき1ポイントを付与することにより、介護予防活動への参加を促進し、高齢者の健康寿命の延伸と介護予防活動の活性化を図った。また、参加者が取得したポイントについては、交換期間中に、所定のポイントごとに景品と交換を行った。事業は、東大和市社会福祉協議会に委託した。 登録活動数：57団体 延参加人数：38,989人 景品交換数：652件 ※延参加人数及び景品交換数には、特別事業分を含む。	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 10	老人クラブ 育成事業	老人クラブ及び老人クラブ連合会に対して、補助金を交付することで高齢者の福祉の増進を図った。 補助金交付クラブ数：連合会1団体、老人クラブ17団体	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 11	高齢者 見守り ぼっくす事業	高齢者の在宅生活の安心を確保するため、高齢者の見守り支援を専門とした相談窓口として市内3か所に設置している。高齢者やその家族、地域住民等からの相談に応じ、必要な支援を行うとともに、民間緊急通報システムの設置相談に応じた。 見守り対象者数：709人（3か所合計） 民間緊急通報システム設置世帯数：209世帯（3か所合計）	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 12	介護保険 事業 一般介護予防事 業	平成30年4月1日時点で75歳以上の奇数歳の者に、基本チェックリストを配布し、生活機能についての確認を行った。確認の結果、介護予防に取り組むことが望ましいと判断された者に対し、介護予防普及啓発事業の案内を行った。また、最終的に返信がなかった者に対しては、高齢者ほっと支援センター及び高齢者見守りぼっくすが状況確認を行った。	—	○	1	高齢 介護課
2-③ 13	介護保険 事業 一般介護予防事 業	65歳以上の要支援・介護認定を受けていない者を対象に、いきいき運動プラス（1期14回・年3期）、楽しみマッスル教室（1期14回・年6期）、東大和元気ゆうゆう体操in市役所中庭等を実施した。	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 14	介護保険 事業 一般介護予防事 業	市民を対象に、東大和元気ゆうゆう体操普及推進員養成講座を実施し、11名の体操普及推進員を養成した。また、介護予防リーダー及び体操普及推進員に対し、連絡会（体操普及推進員連絡会4回、介護予防リーダー連絡会3回）を実施する等活動支援を行った。	○	○	1	高齢 介護課



## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-③ 15	介護保険 事業 一般介護予防事 業	介護予防事業の一環として、介護支援いきいき活動事業を実施した。この事業は、健康で生きがいのある暮らしをすることを目的に、高齢者の方々が介護支援活動を通じて地域貢献や社会参加をするものであり、登録者108名中、90名が活動を行った。	○	○	1	高齢 介護課
2-③ 16	老人福祉館 運営事業	高齢介護課の介護予防事業の開催場所の提供として、先行予約を実施した。 高齢者が余暇を楽しむ憩いの場を提供し、福祉の増進、地域交流の活性化を図った。	○	○	1	地域 振興課
2-③ 17	各公民館活動	蔵敷公民館事業 市民企画高齢者講座「未・楽・生倶楽部」 全7回実施 参加人数 延219人	○	○	2	中央 公民館
2-③ 18		中央公民館事業 新堀地区会館で行う「第7回シニアクラスで学ぶ！楽しむ！」全6回実施 参加人数延354人	○	○	1	中央 公民館
2-③ 19	予防接種 事業	定期予防接種の対象年齢に達した人に案内を送付した。肺炎球菌の案内文は、持ち物を強調し、Q&Aを追加するなど工夫した。 〈接種率〉 インフルエンザ49.0% (11,337人/23,102通) 肺炎球菌30.3% (1,498人/4,949通) 接種率 (接種者数/案内送付数)	—	○	1	健康課
2-③ 20	歯科医療 連携事業 (再掲)	訪問歯科診療を推進した。新規相談件数50件	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

#### 4 社会環境整備【分類番号2-④】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-④ 1	消費者保護 対策事業 ・消費者相談 :保健衛生品 保健福祉 サービス	消費生活相談員を配置し、消費生活における市民の相談に対応することができた。消費生活相談事業において、359件中、保健衛生品15件、保健・福祉サービス6件の相談に対応した。	○	—	1	地域 振興課
2-④ 2	東大和ボラン ティア・市民活 動センターの運 営補助	東大和市社会福祉協議会が行う東大和ボランティア・市民活動センター事業に対し、運営に係る経費の補助することにより、その運営を安定かつ円滑にし、ボランティア活動の推進に寄与した。 補助金確定額 6,253,740円	○	—	1	地域 振興課
2-④ 3	自治会等の活動 支援	自治会等へ様々な支援や事業を実施し、既存の自治会等の発展や、個人の生きがいづくり、社会参加のきっかけ、そして、地域住民同士が安心して暮らせるまちづくりにつながった。 ・自治会活動や集会施設の維持管理経費の一部補助 ・自治会活動に係る市民センターや集会所等の先行予約 ・自治会長等会議の開催 ・コミュニティ助成事業の活用 他	○	○	1	地域 振興課
2-④ 4	シルバー人材 センター運営・ 補助事業	東大和市シルバー人材センターに対する運営費補助金として37,804,000円を補助し、経営基盤の安定化、及び派遣事業の充実化に寄与することができた。	—	—	1	福祉 推進課
2-④ 5	社会福祉 協議会運営・ 補助事業 ・ふれあいの まちづくり 事業	東大和市社会福祉協議会が実施するふれあいのまちづくり事業に対し補助金8,175,000円を交付した。これにより、見守り・声かけ活動、サロン運営事業等の充実化がはかられ、地域福祉の向上に努めることができた。	—	○	1	福祉 推進課
2-④ 6	包括的・ 継続的ケア マネジメント 支援事業 医療介護 連携事業	在宅医療・介護連携推進のための地域における多職種連携研修会を2回実施した。研修会には延180人を超える専門職が参加した。 特に第1回研修会では、歯科医師が講師となり、口腔ケアと嚥下機能向上トレーニングを実習形式で行った。	○	—	1	高齢 介護課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
2-④ 7	狭山緑地 管理事業 ・アスレチック コース	心身の健康維持向上及び健康育成を図るため、「安らぎの場」「憩いの場」としての環境を確保し、その維持管理に努めた。 課題は、いくつかのアスレチック遊具が老朽化しており、更新の時期を迎えていること。 前年度と比較し、樹木の老朽化による危険性が目立ったため、剪定を実施した。 参加者は、市内外の両方から訪れている。	—	○	1	環境課
2-④ 8	こども広場 管理事業	心身の健康維持向上及び健全育成を図るため、安全で利用しやすい環境を確保し、その維持管理に努めた。 課題として、住宅地の中にあるこども広場については、ボール遊びが近隣の迷惑となることが挙げられる。	—	○	1	環境課
2-④ 9	社会教育関係団 体育成事業・社 会教育 関係団体連合体 補助金	例年、体育協会・文化協会などの市内7つの社会教育関係団体連合体の事業に対して、実施している。総額3,820,400円の補助金を交付し、市民自主活動を支援した。	○	○	1	社会 教育課
2-④ 10	社会教育関係団 体育成事業 ・東大和市民文 化祭	市民文化祭においては、新しく2団体の参加があった。 参加団体の高齢化が課題としてあげられる。	○	—	1	社会 教育課
2-④ 11	健康づくり 推進会議	年5回開催。健康のつどいの実施内容や実施後の反省や改善点を議題に話し合った。継続しての委員が多かったため、スムーズな会議進行ができ、また活発な意見交換がされた。	○	○	1	健康課
2-④ 12	健康のつどい	保健センターで福祉祭と同日に開催。多様な内容で実施でき、市民の健康に対する意識の向上が図られた。今後も興味をひく内容について検討する。参加者数：828人	○	○	1	健康課
2-④ 13	休日急患 診療所 運営事業	休日や年末年始の、入院を要しない軽症の初期救急診療のうち、内科及び小児科の診療を行った。また、インフルエンザ流行期には職員を増員し、利用者の診療にかかる負担の軽減を図った。 患者数：1,788人	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 1 がん対策の推進【分類番号3-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成30年版>

がん検診等受診率					H28年度
	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
東大和市	2.1%	1.4%	2.5%	7.2%	12.1%

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
			3-① 1	がん検診 事業		
3-① 2	健康づくり 講演会	テーマ 「骨粗しょう症を防いで、健康づくりに役立て よう」 参加人数30人 すぐに実行可能な運動実技を取り入れ参加者か ら前向きな反応があった。	—	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進【分類3-②】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
3-② 1	国民健康 保険事業 特定健康 診査事業	生活習慣病予防・早期発見のための特定健康診査、生活習慣の行動変容を促すための特定保健指導を実施した。また、特定健康診査受診者のうち、メタボリックシンドロームの判断基準に照らし、階層化された者への特定保健指導を実施した。	—	○	1	保険 年金課
3-② 2	国民健康 保険事業 保健衛生 諸事業	レセプトデータを活用した医療費分析を行い、その結果から、糖尿病等重症化予防プログラム、ジェネリック医薬品利用差額通知、受診勧奨通知及び保健師等による家庭訪問相談の保健事業を実施した。 また、満40歳以上の被保険者の疾病の早期発見・予防及び健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部（上限1件23,000円）を助成した。	—	○	1	保険 年金課
3-② 3	国民健康 保険事業 健康づくり 相談	東京都国民健康保険団体連合会の協力を得て、健康づくり（骨密度・血庄・血管年齢測定、健康づくり相談等）相談を6月20日・6月21日（参加者81人）及び12月19日・12月20日（参加者89人）に実施した。来年度は相談回数減の予定。	○	○	2	保険 年金課
3-② 4	被保護者健康管 理指導事業	無保険者等健康診査の受診結果から、日常的な健康管理指導を要する生活保護受給者に対して健康管理に関する助言・指導を実施し、生活習慣病の予防に努めた。 指導実施者数：45人	—	○	1	生活 福祉課
3-② 5	成人保健 事業 健康診査	若年層健康診査（20～39歳） 受診者数 347人 無保険者等健康診査（40歳以上） 受診者数 463人  若年層健康診査・無保険等健康診査はともに前年度に比べて受診者数が増加した。若年層は生活習慣改善の効果が特に期待できる層なので、さらなる受診者増加を図ることが課題である。来所者への案内等周知方法を引き続き検討する。	○	—	2	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性 1 継続 2 改善等検討	担当課
3-② 6	成人保健 事業 検診、検査	<p>肝炎ウイルス検診 971人 骨粗鬆症検診 157人 歯周疾患検診 299人 胃がんリスク検査 400人</p> <p>肝炎ウイルス検診・胃がんリスク検査は、ともに未受診者のみ対象であるため、受診者は年々減少傾向である。骨粗鬆症検診は受診者数は前年度から横ばいで定員を下回っている。周知方法について引き続き検討し、受診者増加を図ることが必要。</p>	○	—	2	健康課
3-② 7	糖尿病 予防教室	<p>糖尿病予防教室 年2回 延48人、実29人 うち65歳以下の参加者（実7人、延8人） 土曜日開催を継続。成人健診HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）高値の方へ案内を送付。後期は保育付で実施。65歳未満の参加者が減少しており検討が必要。 ※HbA1c：過去1～2か月の平均的な血糖の状態がわかる。糖尿病の診断や血糖値のコントロール状態を調べるために役立つ。</p>	○	○	1	健康課
3-② 8	健康ウォーキング マップの配布	<p>AEDやバス停、公衆トイレや高低差などを表示し、安全面に配慮して作成し、約787部を配布した。</p>	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 3 循環器疾患の対策【分類3-③】

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性	担当課
					1 継続 2 改善等検討	
3-③ 1	生活習慣病 予防教室 (再掲)	年2回実施 参加者延50人 若年健診(20~39歳)受診者で血圧値のリスク 者へ教室の案内を送付し、受講を勧奨した。 15人案内送付したが、その中からの参加は0 人。	○	○	1	健康課

## 5. 平成30年度実施状況調査結果

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策【分類番号3-④】

※「第1節 生活習慣の改善と推進 4-2 喫煙」の再掲

ヘルス プロモーション	A:住民や当事者の主体性を重視した
	B:各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

分類 整理 番号	事業名	実施事業内容 住民や当事者の主体性・環境整備 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	A	B	今後の 方向性	担当課
					1 継続 2 改善等検討	
3-④ 1	学童への たばこ対策	小・中学校の校舎内及び敷地内を全面禁煙として教職員、来校者及び保護者への周知徹底を図った。	○	○	1	教育 指導課
3-④ 2	妊娠育児期間及 び乳幼児への たばこ対策	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況を確認し、家族も含む喫煙の影響・受動喫煙の情報提供を行った。◎妊婦数608人のうち喫煙者1.5%(9人)	○	○	1	健康課



東大和市健康増進計画

平成30年度実施状況報告書

令和2年3月

発行 東大和市福祉部健康課  
〒207-8585  
東大和市中心3丁目930番地  
電話：042-563-2111（代表）



東京  
ゆったり日和  
東やまと

東大和市健康増進計画

基本理念

生涯にわたって

健康でいきいきと

豊かな人生を

おくれるまち

東大和

